



## 7DMk II 取扱説明書〔カメラ編〕 V1.2

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書〔カメラ編〕並びに別冊子〔ハウジング本体編〕をよくお読みい  
ただき十分ご理解のうえ、Nexus ハウジングを安全に正しくお使いください。  
お読みになったあとも、大切に保管してください。  
カメラをハウジングにセットしたら、水中で使用される前に必ず、全ての操作  
部が確実に操作できることを確認してください。

取扱説明書で使用している画像やイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

**a n t h i s**

# 目 次

## お使いになる前に

パッケージ内容の確認	1
ユーザー登録	1
必ずお読みください	1
保証書について	1
各部の名称と主な機能	2~5
主な仕様	5

## 選択機能について

内蔵ストロボ対応の光接続するには	6
内蔵ストロボ OPEN/CLOSE 操作方法	6
内蔵ストロボ OPEN/CLOSE の機能を止める	7
モードダイヤルを電源スイッチにするには	7~8


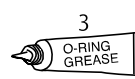
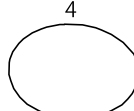
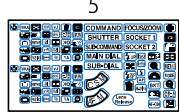



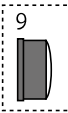
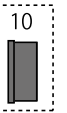


本製品は、EOS 7DMk II カメラを収容できる防水耐圧ハウジングで、水深 75m までの圧力に耐えられます。

## Nexus C 7DMk II をお使いになる前に

この度は、Nexusハウジングをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
まず、お使いになる前に、以下のことを行ってください。

### ◎パッケージ内容の確認

以下のものが、パッケージに含まれているか確認してください。

<input type="checkbox"/> 1. ハウジング本体			
<input type="checkbox"/> 2. レンチセット			
<input type="checkbox"/> 3. Oリンググリス			
<input type="checkbox"/> 4. スペアボディOリング			
<input type="checkbox"/> 5. 表示シール			
<input type="checkbox"/> 6. サブ電子ダイヤルキャップ			
<input type="checkbox"/> 7. モードキャップ			
<input type="checkbox"/> 8. 電源スイッチブロック			
<input type="checkbox"/> 9. ピックアップユニット			
<input type="checkbox"/> 10. マグニファイヤーユニット			
<input type="checkbox"/> 11. ケーブルアダプタ 2×2 個 (2mm 光ケーブル用)			
<input type="checkbox"/> 12. ストラップリング ×2			
<input type="checkbox"/> 13. 取扱説明書			
<input type="checkbox"/> 14. 保証書			
<input type="checkbox"/> 15. ユーザー登録書			



注意  
パッケージ内容に誤りのある場合は下記へご連絡ください。  
(株)アンティス  
〒444-2137  
愛知県岡崎市  
藪田 1-16-1  
☎0564-25-3937

### ◎ユーザー登録

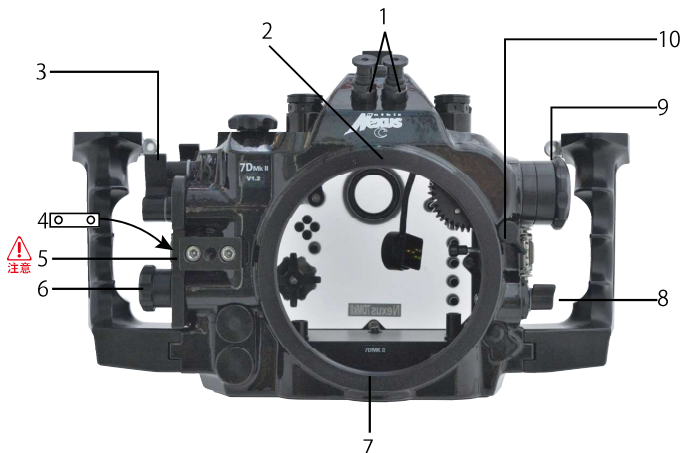
ユーザー登録書は必要事項を記入して、必ず投函してください。  
この葉書によってお客様は本製品のユーザーとして登録されます。


## 必ずお読みください

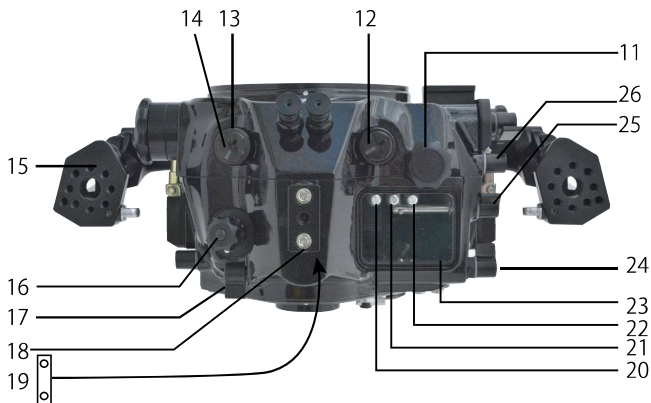
- 安全にご使用いただくために取扱上の注意は大変重要です。よくお読みになり十分ご理解されてから、ご使用されることをお願いいたします。
- 潜降を始める前に浅いところで、水漏れがないか、正常に操作できるか必ず確認してください。
- 水漏れ事故を起こした場合のハウジングやカメラ、レンズの損害、撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- ハウジングやカメラ、レンズの為の保険『アンティスセイフティプラン』をご用意しております。ご質問やご希望のある方は、別紙連絡先へお問い合わせください。

## 保証書について

- 保証規定をよくお読みください。
- 期間はお買い上げ日より1年間で日本国内のみ有効です。
- 保証書の再発行はいたしません。大切に保管してください。



- 1 光ソケット  
光ケーブルを接続して、LED の発光をカメラに伝達します。光接続対応のストロボによるマニュアルでの発光のみ可能です。  
オプションで、内蔵ストロボ対応の光接続に仕様変更することもできます。ケーブルが不用意に抜けないように付属品 11. のケーブルアダプタを差込みます。
- 2 ポート取付け指標
- 3 シャッターレバー  
シャッターボタンを操作します。
- 4 防蝕亜鉛プレート  
意図しない腐蝕を防ぐためにボディと T スライドベースの間に挟み込まれています。
- 5 T スライドベース  **注意**  
Nexus アーム（別売品）などのアクセサリが取付けられます。フィッシュアイポートなど外径の大きいポートを取付ける場合は外してください。T スライドベースとポートが干渉しすぎ間が発生するため、防水機能が失われます。他のベースとの併用はできません。
- 6 メイン電子ダイヤル  
メイン電子ダイヤルを操作します。カメラをセットした後、メイン電子ダイヤル ON/OFF ノブを ON にセットします。（▶本書 P3\_ 写真 11・本体編 P5\_ 図 11・本体編 P6\_ 図 16）
- 7 ポートマウント  
ポートを取りつけます。また、ポートのベース O リングがあたる面で防水に重要な箇所です。傷などを防ぐため移動、運搬、保管の際はボディーキャップ（別売品）で保護してください。
- 8 レンズロック解除ボタン（オプション機能）  
ハウジングにカメラをセットしたまま、レンズ交換が可能です。
- 9 フォーカス/ズームノブ  
単焦点レンズのマニュアルフォーカス操作をします。ズームレンズではズーム操作をします。レンズに合ったギアを選び取りつけてください。ノブのカメラ側は、レンズ径に応じて 82/86 のモード設定が可能な 2 モードギアです。
- 10 内蔵ストロボ OPEN レバー（オプション機能）  
ストロボボタンを操作して、内蔵ストロボを上げます。



11 **メイン電子ダイヤル ON/OFF ノブ**

メイン電子ダイヤル (▶本書 P2\_ 写真 6) を操作するために、ホイールを上下させるノブです。時計回りで「上」に反時計回りで「下」に動きます。カメラ着脱の際は干渉を避けるため OFF にセットします。(▶本体編 P5\_ 図 11・本体編 P6\_ 図 16)

12 **電気ソケット 1**

ニコノス型 5 ピン対応ストロボ同調ソケットです。シンクロコードを接続し、ニコノス型 5 ピン対応ストロボによるマニュアル発光のみ可能です。

13 **シンクロキャップ**

ソケットの内部を保護するキャップです。シンクロコードを接続する時以外は外さないでください。使用しないソケットのキャップには、ネジに十分グリスを塗ってください。外れなくなる場合があります。



**注意**  
キャップが外れにくい場合はコイン等でゆるめてください。反対にコインで締める場合は締め過ぎに注意してください。行き止まりまで締めたなら、ほんの少し戻してください。

14 **電気ソケット 2**

2 灯めのニコノス型 5 ピン対応ストロボ同調ソケットです。

15 **グリップ**

スクリュー 1 本で簡単に着脱できます。上部には Nexus アームなどのアクセサリを取り付けるためのネジ穴が設けてあります。

16 **モードノブ / 電源スイッチノブ (どちらかを選択。標準はモードノブ)**

モードダイヤルを操作します。カメラにモードキャップ→付属品パッケージ 7. の取付けが必要です。(▶本体編 P2\_ 図 2)

モードプレート電源スイッチブロックに交換すると電源スイッチの操作できます。(▶本書 P7~8)

17 **内蔵ストロボ CLOSE レバー (オプション機能)**

内蔵ストロボを収納します。

18 **T スライドベース**

Nexus アームなどのアクセサリが取り付けられます。

19 **防触亜鉛プレート**

ボディと T スライドベースの間に挟み込まれています。

20 **ホワイトバランス選択 / 測光モード選択ボタン**

21 **ドライブモード選択 / AF 動作 / AF 方式選択ボタン**

22 **ストロボ調光補正 / ISO 感度設定ボタン**

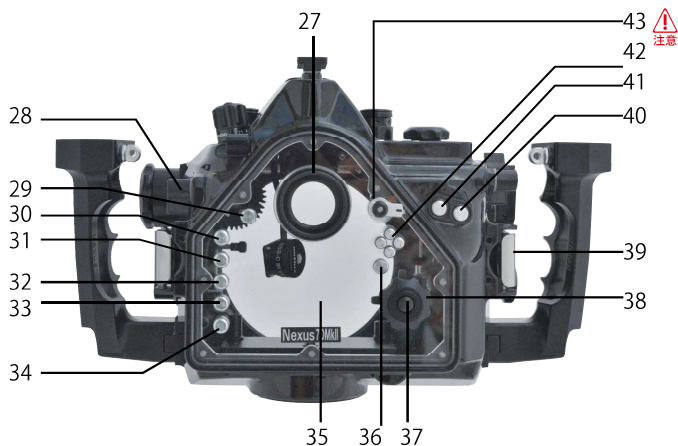
23 **表示パネル確認窓**


表示パネルの情報を確認します。

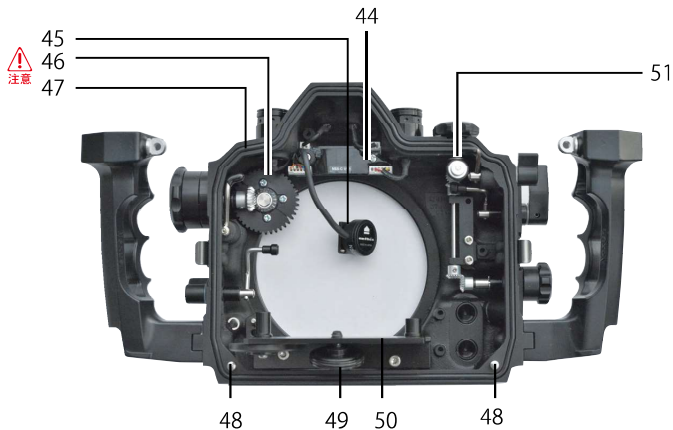
24 **AF-ON ボタン**


25 **測距エリア選択 / マルチファンクションボタン**

26 **表示パネル照明ボタン**



- 27 マルチファインダー  
 ピックアップとマグニファイヤーのどちらかのインナーユニットをセットします。インナーユニットには+1の視度調節機能があります。(▶本体編 P7\_ マルチファインダー インナーユニットのセット)
- 28 メニューボタン
- 29 インフォボタン
- 30 クリエイティブフォト / 2画面比較再生ボタン
- 31 レーティングボタン
- 32 インデックス / 拡大 / 縮小ボタン
- 33 再生ボタン
- 34 消去ボタン
- 35 モニターウインドウ
- 36 クイック設定ボタン
- 37 設定ボタン
- 38 サブ電子ダイヤルノブ  
 サブ電子ダイヤルを操作します。カメラにサブ電子ダイヤルキャップ（付属品パッケージ 6.）の取付けが必要です。(▶本体編 P2\_ 図 1)
- 39 ラッチ  
 左右2箇所ですフロントボディーとリアボディーを固定します。
- 40 AF フレーム選択ボタン
- 41 AE ロックボタン
- 42 マルチコントローラーボタン  
 マルチコントローラーの上下左右を操作します。
- 43 ライブビュー撮影 / 動画撮影切替えボタン   
 レバーを回して、ライブビュー撮影、動画撮影の設定をします。  
 <重要>カメラをセットする際に、カメラの設定とボタンの指標を合わせてください。(▶本体編 P8)
- スタート / ストップボタン  
 中央の黒いボタンを押して操作します。



- 44 NSS-C 基板 (Nexus シンクロシステム -C)  
光接続と電気接続が同時に最大で4灯使用できます。(▶本体編 P10\_NSS-C について)
- 45 NSS-C コネクタ  
カメラのアクセサリースューに接続し、シャッターボタン全押しでスイッチが入りストロボが同調します。
- 46 2モードギア   
標準の40モードと大口径対応の36モードの2段構造になっています。使用するレンズに応じてモードを設定します。設定はカバーギアの着脱で簡単に行えます。(▶本体編 P5\_2モードギアの取扱について)
- 47 ボディ O リング  
密閉性や防水性を確保します。取り扱い方によっては防水機能を損なう場合があります。(▶本体編 P19\_ボディ O リングとは)
- 48 ボディロックピン  
フロントボディとリアボディの合わせガイドです。左右にあります。
- 49 カメラホルドスクリュー  
カメラ固定ネジです。三脚ネジ穴に取り付けし、簡単にカメラの着脱ができます。
- 50 ベースプレート  
カメラを正確に位置決めします。カメラ、レンズからの振動を確実に受け止めます。裏面には、2モードギア(写真46)のカバーギアを保管するホルダーが備わっています。(▶本体編 P11\_カバーギアホルダーの使い方参照)
- 51 メイン電子ダイヤル ON/OFF ホイール  
(▶本体編 P6\_図 16)

#### ■主な仕様

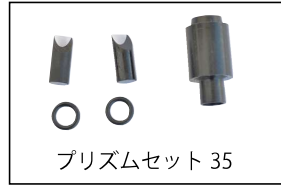
- 適応カメラ : EOS 7DMk II  
 主な材質 : 耐蝕アルミ合金鋳物  
 寸法 : (W×H×D) 約 317×189×135mm  
 重量 : 約 2,279g (ハウジング+グリップ) 陸上  
 実用耐水深 : 75m

## 内蔵ストロボ対応の光接続にするには

別売のプリズムセット 35 で、内蔵フラッシュ対応に変更できます。

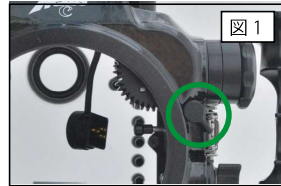
手順は、プリズムセット 35 の取扱説明書をご覧ください。

必要に応じて、LED 対応に戻すことも可能です。

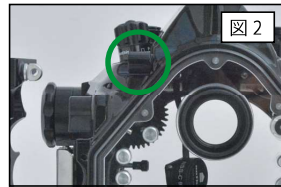


## 内蔵ストロボ OPEN/CLOSE (オプション) 操作方法

- 1-1 内蔵ストロボを上げる  
内蔵ストロボ OPEN レバーでストロボボタンを押します。☞図 1
- 1-2 内蔵ストロボを収納する  
内蔵ストロボ CLOSE レバーでカチッと音がするまで押し下げます。



《重要》 収納後はレバーを元の位置に戻してください。アームが下がっていると、内蔵ストロボが十分上がらず同調不良となる場合があります。☞図 2





## 内蔵ストロボ OPEN/CLOSE の機能を止める


必要に応じて機能を止めることができます。

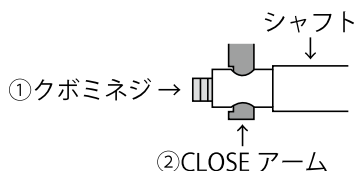
ストロボ OPEN アームと CLOS アームを外して、付属のシャフト抜け止めピンに交換してください。

<手順>

1-1 ①の取り付けネジをレンチでゆるめる。

1-2 ②のアームを抜き取り、付属のピンを取り付ける。

 **注意** : ピンが無いとレバーが脱落し、防水機能が失われます。



機能を再開するときは、アームの座グリにクボミネジを固定してください。座ぐり以外の場所では、ネジがゆるむことがあり危険です。



座グリとは  
段になった平らな部分

## モードダイヤルを電源スイッチに変更するには：

モードノブはモードダイヤルと電源スイッチの操作ができます。2つを同時に使用することはできませんが、部品の交換によりモードダイヤルを電源スイッチに変更することができます。モードプレートを付属のメインスイッチブロックに交換してください。

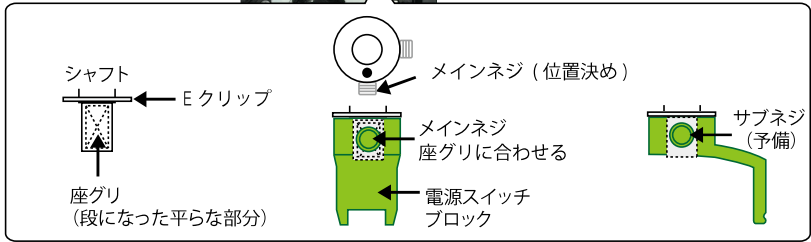
電源スイッチブロックパッケージ内容 ※電源スイッチブロックは本体付属品に同梱されています。



電源スイッチブロック 1個

《付属品》  
・固定ネジ

電源スイッチブロック用 2個(取付済)



交換手順：

1. 1.5mmのレンチでモードプレートのネジ2カ所をゆるめ、取り外します。
2. シャフトの座グリを手前に向け、電源スイッチブロックのメインネジを合わせ、止まるところまで押し込みます。
3. 座グリとメインネジが合っていることを確認して、ネジを締めます。
4. ネジは安全構造のため、メインとサブの2箇所設けてあります。サブネジも締めてください。

※ネジの締め過ぎに注意してください。電源スイッチブロックはプラスチック製のため、閉め過ぎると破損する場合があります。

5. カメラのモードキャップを外します。  
※外したモードプレート、モードキャップは紛失しないように保管してください。

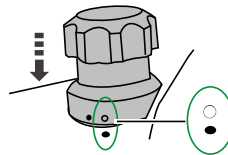
電源スイッチをセットする：

P 本体 9\_ 図 26 のモードダイヤルをセットするを参照して、電源スイッチの設定とノブの指標を合わせてください。

電源スイッチの ON/OFF：

ノブを左右に回して操作します。

<ON> ● <OFF> ○  
● ●



**a n t h i s**

有限会社 アンティス

〒444-2137 愛知県岡崎市藪田 1-16-1

TEL : 0564-25-3937

FAX : 0564-25-2205

<http://www.anthis.co.jp>

\*改善により仕様および外観の一部を予告なしに変更することがあります。  
\*取扱説明書における本文および写真などの無断転載、複製を禁じます。

2020/02